

(様式 2)

女性の就農環境改善計画

実施主体名	仙台りるぽて畑
取組	(2) 地域の女性農業者グループの活動支援
構成員数	6人(うち女性の人数5人) (令和4年4月時点)

1 事業実施方針

女性が活躍し、地域の潜在力を発揮できる活動の開始、発展に取り組む。
グループの目的：
①女性農業者の経営安定、新たな従事者増加。②よい商品を提案、生産するためにグループの力を用いる。③企画、生産、販売を通し、《芋づる式まちづくり》をテーマに、農業や地域の魅力を発掘、発信、人の輪を広げていく。

背景：
仙台市沿岸部は、2011年発生の東日本大震災によって被災、多くの小規模農家は離農し、大区域は大規模圃場整備が実施されたものの、後継者の確保や、収益性の高い経営への移行の課題がある。沿岸部の一部では、集団移転が実施され、集落コミュニティの変化や跡地利活用など農村の形、農業形態の変更が余儀なくされている。

本事業では、収益性が高く、地域に適した作物としてさつまいもの生産拡大、新規就農者の呼び込みと、経営安定を目的とする。さつまいもは小規模面積、小規模資金でも始めやすく、加工にも向き、保存することで長期間の出荷も可能である。地域は、仙台市中心部にもほど近い立地で、スイートポテトや干し芋・収穫体験など魅力的な商品・サービスの提案により、地域のファンを形成することと、震災の継承、農業・地域産業の維持発展、を担う。

中心となる2農業経営体は、2019年、2017年にそれぞれ新規独立就農した、非農家出身の新規就農者であり、自らの就農の体験や、経営を通し就農相談の請負にも取り組んでいる。スイートポテトの加工にすでに取り組んでいる団体は2020年に店舗を開始し、仙台市近郊での卸、直営店舗での販売を行っているが、地域産のさつまいもの生産量が少ないため、現状は仙台市産の使用は1割程、約9割は他産地から仕入れている。

さつまいも生産は新規就農者でも取り組みやすく、販路や加工先が現状でも確保されており、さらなる加工品(干し芋、焼き芋など)の開発により収益性を高め、顧客確保も可能になるため、新たな担い手確保を図ることができる。特に、農作業、加工、販売通して、性別年齢問わず従事しやすく、女性への従事呼びかけも行いやすい。

また、仙台市内だけでなく、ほか地域でも可能且つ需要が十分にあると考えられ、この協議会での事例をもとに、すでに事例紹介やレシピ考案などで連携している、大学や専門学校等の教育機関への情報提供、新たな実践地域の拡大も考えられる。

(注) 具体的に記載してください。

2 女性就農環境改善に向けた実施体制

・実施体制：事業主体は協議会方式とし、女性農業者を中心としたグループである。
 全体統括責任者：代表 会計担当者：副代表 生産責任者：副代表 企画・政策立案：代表 加工部門担当者：代表 生産・加工担当者：構成員4名 合計6名（内女性5名）
 ・事業実施主体の能力や関係機関との連携状況等：代表者、副代表は、認定新規就農者の認定を受けており、市、農業改良普及センター、農業委員会、農協の指導の下営農に取り組んでいる。H A C C A P、J G A Pは副代表が講習を受け資格を取得している。

(注) 応募団体での受入体制や関係機関との連携状況等を具体的に記載してください。

第4の(1)の事業の応募者については、協議会等に属する構成員について5名以上の農業者(女性1名以上を含む)の氏名を記載してください。

3 女性就農環境改善のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
〈実施中の取組〉 1) 新規就農希望者の相談受け入れ 2) 新規就農希望者の視察・体験受け入れ 3) 新規就農、女性農業者の情報発信(新聞、ネット記事、SNSなど)	令和3年度※個人での受け入れ 1) 5名 2) 5名 3) 新聞、ネット記事等3回	
〈今後の取組〉 1) 新規就農希望者の相談受け入れ、相談会 2) 新規就農希望者の視察・体験受け入れ 3) 新規就農、女性農業者の情報発信(新聞、ネット記事、SNSなど) 4) 農業大学校、教育機関などでの講和、情報交換	令和4、5年度 1) 年間5名 2) 年間5名 3) 年4回 4) 年1回	

(注) 「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
〈実施中の取組〉 1) 協議会の設立 2) 就労環境の改善(トイレ、水道、作業場の設置) 3) 先進事例経営体との交流(2022年2月に茨城の農家と実施。本来は直接視察研修に向かう)	1) 2022年2月 2) 2021年 3) 2022年2月	

<p>予定だったが、新型コロナウイルス蔓延防止措置のため、リモートでの研修、生製品の試食を行った)</p> <p>〈今後の取組〉</p> <p>1) 定例会の開催</p> <p>2) 勉強会、研究会実施</p> <p>3) 先進事例、商品視察</p> <p>4) さつまいも加工品の商品開発</p> <p>5) 直売会、農作業体験会の実施、消費者へのアンケート調査や意向調査</p> <p>6) 新規品種や栽培方法の研究、地場産さつまいもの生産量の増加</p>	<p>令和4年度</p> <p>1) 年4回</p> <p>2) 年4回</p> <p>3) 年4か所</p> <p>4) 3種類試作</p> <p>5) 直売会年9回 農作業体験会6回</p> <p>6) 新規品種3品種、地域に合わせた新規資材の使用</p>	
--	--	--

(注)「内容」欄には具体的な取組内容等を記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

(3) 女性就農環境改善に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>〈実施中のとりくみ〉</p> <p>1) さつまいもの生産での雇用</p> <p>2) さつまいも加工品スイートポテトへの着手、販売</p> <p>〈今後の取組〉</p> <p>1) さつまいも加工品の商品開発</p> <p>2) 直売会、農作業体験会の実施</p> <p>3) 地域内の教育機関、施設との交流（小学校、市民センター、幼稚園、児童館など）</p> <p>4) さつまいもの生産、加工での雇用の拡大</p>	<p>1) 臨時雇用2名</p> <p>2) 2020年より</p> <p>1) 令和4年度中にスイートポテト新品目、干し芋、焼き芋の試作、販売</p> <p>2) 直売会年9回、農作業体験会年6回</p> <p>3) 年1回</p> <p>4) 令和5年度に新規5名</p>	

(注) 農業委員等に選出された等、地域での活躍状況等を「内容」欄に具体的に、取組内容等を含め記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

4 女性の就農環境改善対策事業を活用した取組の計画内容

(1) 働きやすい環境整備への支援

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考

（注） 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、第4の（1）の事業の応募者は、確保する施設等について5名以上の女性の利用者がいることがわかるよう記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

（2）地域の女性グループの活動支援

【課題】 ※簡潔にご記入ください。※課題番号は必要に応じて追加・削除ください。

①	よりよい商品やサービスにより、経営安定をさせたい。個々人では限界があってもグループにより力を合わせて良いものをつくりたい。
②	地域や消費ニーズに合った作物、品種等を検討したい。
③	消費者ニーズを知りたい。地域の魅力を発信したい。
④	消費者ニーズを知りたい。ファンを獲得したい。
⑤	日持ちする商品を作りたい。新たな商品を開発し、顧客の意見を知りたい。
⑥	グループや商品の目的や内容を発信したい。
⑦	生産、加工、マーケティングなどの知識や経験が不足しており、学びたい。

【課題解決のための補助事業（概要）】 ※課題番号に対応するように記入ください。

①	協議会の立ち上げと定例会、勉強会、研究会の実施
②	さつまいもの生産、新規品種の作付け 紫芋新品種、早生品種など
③	農作業体験会の実施 年6回
④	直売会の実施 年9回
⑤	新たな加工品の試作、販売
⑥	販促物や商品のデザイン作成
⑦	先進地視察、市場調査

【事業成果と今後のプラン】

※課題番号に対応するように記入ください。

※どのようにグループ活動の活性化及び今後の活動に繋がるか分かりやすく記入ください。

※できる限り、数値目標を入れてください。

※商品計画については、翌年度以降の販売事業計画をご記入ください。

①	協議会で様々な意見を取り入れ、役割分担をすることでスピーディーに実践することができる。相互に経営安定に向けとりくみ、臨時雇用等の増加につながる。
②	地域や加工品に合わせた品種、作型を知ることができ、より経済的でより美味しい商品開発を行うことができる。
③	消費者や地域住民、子どもたちの参加を見込んでおり、消費者の動向を知り、良い商品開発に繋げることができる。また、地域や農業の魅力を見つけたり、新規就農希望者等の発掘につながったりする。
④	生産物や商品を直接販売することで、顧客の動向をリアルに知ることができる。また、顔の見える関係を強化することができる。

⑤	日持ちする加工品を試作、研究し、翌年度以降の宅配便などによる全国発送や、常温での販売など、今までよりも幅を広げた販売が可能になる。廃棄が減るなど、利益率を向上させ、経営安定と、女性農業者等の定着、新規雇用につながる。
⑥	商品や地域、グループの活動に興味を持ってもらうことができ、事業翌年度以降の売り上げに貢献できる。また、農業や就農に興味を持つ女性等への発信にもなり、より女性等を雇用しやすくなる。
⑦	実際に見たり、話しを聞いたりすることで具現化することができ、さつまいもを中心とした産地形成についても見えてくる。新規就農者の呼び込みや、定着についても学ぶことができる。

【事業内容（詳細）】

課題番号	時期	グループ活動内容（対象者・方法等）	事業実施経費（費目、金額）	備考
①	2022年	定例会、勉強会、研究会 年4回 対象者：グループメンバー全員		
②	2022年5月～11月	さつまいもの生産、新品種作付 対象者：グループメンバー全員		
③	2022年6月～12月	農作業体験会6回 対象者：消費者、地域住民、新規就農希望者等 臨時雇用賃金	賃金 96,000円	給与規程に基づき算出
④	2022年6月～2023年2月	直売会9回（内2回は出店料あり） 対象者：消費者、地域住民等 臨時雇用賃金	その他 14,545円 賃金 144,000円	出店料 給与規程に基づき算出
⑤	2022年9月～2023年2月	商品の試作、販売 対象者：グループメンバー全員		
⑥	2022年6月～2023年2月	販促物や商品デザインの検討と試作 対象者：グループメンバー全員	役務費 163,637円	デザイン制作費
⑦	2022年7月頃	先進地視察（宮城県） 対象者：グループメンバー4名 交通費 視察先謝金 先進地視察（茨城県） 対象者：グループメンバー4名 交通費 視察先謝金	旅費 6,349円 謝金 30,000円 旅費 24,021円 謝金 30,000円	謝金規程に基づき算出

(注) 「内容」欄には支援内容、対象者、実施方法等を具体的に記載し、必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	5 人
(新規確保女性農業者の内訳)	
自営農業就業者 2 人、雇用就農者 0 人、アルバイト・ボランティア等 3 人	

(注) 必要に応じ、計画の詳細等を記載した資料を添付してください。

女性農業者は、新規参入者、自営農業就農者(結婚を機に就農された方含む)、雇用就農者、アルバイト、ボランティア等を含む農業関連事業従事年間30日以上の方とします。

農業関連事業とは、農産物製造・加工、農畜産物の貯蔵、運搬、販売、農業生産資材の製造、農作業の受託、都市住民等の農作業体験施設の設置・運営や民宿業を含みます。